

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会にかかる

観光部局等との連携について

●第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会開催基本方針

<実施目標>

- (1) 滋賀をスポーツで元気にする大会
- (2) 滋賀の若者や女性が主体的に関わる大会
- (3) 県民総参加でつくり、「滋賀の力」を伸ばす大会
- (4) 滋賀の魅力を再発見し、地域の活性化やビジネスにつなげる大会**
- (5) 滋賀の子が、滋賀で育ち、滋賀で活躍する大会
- (6) 滋賀の未来に負担を残さない大会
- (7) すべての人がともに支え合う滋賀を目指す大会



●第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会開催基本構想

・『実施目標4 滋賀の魅力を再発見し、地域の活性化やビジネスにつなげる大会』 に向けた取組

- (1) おもてなしと滋賀の魅力発信
 - 来県者を温かく歓迎し、心のこもったおもてなしを行う
 - 滋賀の魅力を発信し、来県者に滋賀での滞在を楽しんでもらう
 - 県民一人ひとりが滋賀の魅力を再発見
- (2) 「大会文化プログラム」の展開
 - 滋賀ならではの文化・芸術やスポーツ文化の発信、eスポーツなど、来県者が楽しめる「大会文化プログラム」の展開
- (3) スポーツビジネスの展開
 - 来県者に向けて、自然・歴史・文化・食等で活かした滋賀ならではのツーリズムを提案

I 庁内での情報共有について

国スポ・障スポ両大会の開催に向けた現状や諸課題について、副知事・関係部局長による情報共有・対応協議、連絡調整を行うため、10月に「第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会企画調整会議」を設置。

これまで計4回(10/8、11/12、11/25、12/17)開催。(第3回会議において、商工観光労働部を交え、「先催県における観光面等での取組状況について」を議題とし、開催)

○メンバー

西嶋副知事<座長>、文化スポーツ部長<幹事>、理事(スポーツ担当)、土木交通部長、知事公室長、総務部長、(必要に応じ)その他部局長

Ⅱ 宿泊、輸送・交通について

1 宿泊業務について

大会の開催にあたって来県される選手、監督、競技役員、視察員、報道員等の宿舎を確保するため、今後、県と会場地市町が連携して準備を進めていく。

(参考) 宿泊基礎調査の概要(抜粋) *昨年度実施

調査対象数	回答施設数	客室数	収容可能人数	国スポ提供可能人数
447軒	334軒	10,538室	26,940人	8,584人

<平成30年福井国体の例>

1日あたりの宿泊者(最大)		
選手・監督	大会関係者	合計(A)
12,526人	2,544人	15,070人

今後の取り組み

- 会場地市町と連携して仮配宿(会場地市町ごとに参加者をどの宿泊施設に割り振るかのシミュレーション)を行い、宿舎の過不足状況を具体的に把握。
- 滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合等の関係機関や個別の宿泊施設に対して、客室提供依頼を進める。
- 会場地市町によっては、宿泊施設の不足が見込まれるところもあるため、ホテル、旅館等だけでは充足が困難な場合に必要となる充足対策(転用施設、民泊、広域配宿など)を具体的に検討。
- 県と会場地市町が、円滑に配宿を行うため、合同配宿に向け準備を進める。
- 大会開催期間が観光シーズンと重なるため、期間中のイベントの自粛依頼や実施時期の調整などを行う。

2 輸送・交通業務について

大会に参加する選手、監督、競技役員、視察員、報道員等の輸送を安全かつ確実にを行うため、今後、県と会場地市町が連携して準備を進めていく。

(参考) 輸送・交通基礎調査結果概要 (抜粋) *昨年度実施

<県内のバス保有台数等>

貸し切りバス※	路線バス	計	平成30年福井国体の例
445台	168台	613台	1日 300~400台使用 ピーク時 1日 約600台使用

・県内バスの例年同時期の稼働は約7割。

(※貸し切りバス内訳：大型248台、中型75台、小型122台)

今後の取り組み

- 借上バスについて、県内だけでは不足が見込まれるため、近隣府県からバスを確保。
- 県が大会全体で必要となるバスの台数を把握し、市町と協議の上、滋賀県バス協会等の関係機関に対して、バスや運転手の確保等の協力を要請。
- バス以外の鉄道、タクシー、レンタカー等、他の交通事業者に対し、協力を求める。
- 総合開閉会式にかかるバスの輸送ルート、駐車場や駅周辺のシャトルバス乗降場の選定等について具体的に検討。
- 各競技会場における輸送方法や輸送ルートの設定、周辺駐車場の利用等について、会場地市町において円滑に準備を進められるよう支援。
- 大会開催中の交通規制や案内看板等の設置等について検討。
- 大会開催時のマイカー自粛、公共交通機関の利用等の周知や県内旅行ツアー等を大会開催中は避けてもらうなどの調整を行う。

Ⅲ 先催県の取り組みについて

1 観光ガイドブックの作成

(1) 福井県 (平成30年開催)

○「福井しあわせ元気国体・障スポ2018 観光ガイドブック」

- ・平成29年度8万部、平成30年度15万部作製
- ・A5判、36ページ

- ・予算額 9,531,000 円
- ・県内5地域で半日もしくは3時間の観光モデルコースを紹介

(2) 茨城県 (令和元年開催)

○「るるぶ特別編集 茨城国体障スポ観戦&おでかけガイド」

- ・10万部作製
- ・A B判、132ページ
- ・制作経費 30,564,000 円
- ・先催県の観戦ガイドは競技ごとにまとめられているのに対し、市町村ごとにページを作成し、観光スポット等を紹介

2 総合案内所の設置

- ・開・閉会式会場および県内の主要駅、空港に総合案内所を設置。(各競技会場および最寄り駅等には、会場地市町が案内所を設置。)
→茨城県の設置個所 (JR水戸駅、JR勝田駅、JR東海駅、TXつくば駅、茨城空港)
- ・係員 (職員やボランティア) を配置し、観光案内を行うとともに、観光パンフレット等を設置・配布。
→茨城県では、「いばらき観光マイスター (県が認定試験を実施)」を運営ボランティアとして総合案内所に配置。(観光物産課と調整)



総合開・閉会式会場 (笠松運動公園陸上競技場)



JR水戸駅



JR勝田駅



TXつくば駅

3 総合開・閉会式会場でのおもてなし広場の設置

- ・ 県特産品の紹介や販売



- ・ 食（ご当地グルメ）のふるまい（無料配布：数量限定）



4 県観光ホームページとの相互リンクの設定（茨城県）

- ・ 国体・障スポ公式ホームページおよび県観光ホームページにそれぞれのバナーを配置。

観光、宿泊、輸送・交通にかかる今後のスケジュール

	令和元年(2019年)	令和2年(2020年)	令和3年(2021年)	令和4年(2022年)	令和5年(2023年)	令和6年(2024年)
	開催内定		開催決定		リハーサル大会	国スポ・障スポ開催
開催準備			県開催実行委員会への改組			
	市町開催準備委員会の設置		⇒ 市町開催実行委員会			
観光			ワールドマスターズゲームズ2021関西 第72回全国植樹祭しが2021	モデルツアーの検討 市町・観光協会等への働きかけ		観光パンフレット作成・配布 各会場での特産品販売・観光PR・おもてなし
宿泊		第一次仮配宿(シミュレーション)		第二次仮配宿(シミュレーション)	第三次仮配宿(シミュレーション)	本配宿
		充足対策検討、客室提供依頼		県・会場地市町合同配宿センターの設置		
輸送・交通		輸送・交通総合調査	輸送計画の検討・策定			輸送本部設置
		県内・外の交通事業者へ協力依頼				